

2023 年度南東北原子力シンポジウム プログラム

主催：日本原子力学会東北支部

共催：福島大学環境放射能研究所

後援：日本原子力開発機構福島研究開発部門

開催場所：福島大学環境放射能研究所（本棟 A602）

1月19日（金）

11:00- 12:00 環境放射能研究所の見学（10:50 までにお集まりください）

12:00- 13:00 昼食

13:00- 13:10 開会のあいさつ：高橋 信

座長：塚田 祥文（福島大学）

13:10-13:35 福島大学特任教授 Aleksei Konoplev

Radioecology after Fukushima: Lessons Learned and Challenges for the Future

13:35-14:00 福島大学大学院環境放射能学専攻（M2） 馬目 由季

広塩性魚ヌマガレイにおける異なる塩分条件下での放射性セシウム取込と排出の評価

14:00-14:25 福島大学准教授 高田 兵衛

福島の海水中でのセシウム濃度変遷

14:25-14:40 休息

座長：鷺谷 忠博（原子力機構）

14:40-15:05 日本原子力研究開発機構 CLADS グループリーダー 新里 忠史

森林の放射性セシウム分布および樹木への吸収量の見積り

15:05-15:30 日本原子力研究開発機構 CLADS 研究副主幹 舟木 泰智

福島事故後の陸水域の放射性物質の移行メカニズム解明

15:30-15:55 日本原子力研究開発機構 CLADS グループリーダー 眞田 幸尚

福島の放射線モニタリングの現状と原子力防災技術への継承

15:55- 16:00 閉会のあいさつ：藤原 充啓

【講演】 発表 20 分、質疑応答 5 分